

# リスク管理

## ■ 大成ファインケミカル



大成ファインケミカル（千葉県旭市、稲生豊人社長、0479・64・2077）は、溶液型のアクリル樹脂メーカー。オーダーメイドで樹脂を設計し、顧客の試作開発から量産品立ち上げまでを支援している。稲生社長は「特注品で生きている我々中小企業こそ事業継続計画（BCP）に本気で取り組むべきだ」と強調する。代替の効かな

い存在だからこそ、市場に技術や製品を供給できなくなった場合の影響が大きいからだ。

2011年3月11日に発生した東日本大震災で本社工場が被災し、BCPの重要性を肌で感じたことがきっかけ。このため、同社は11年、東京都のBCP策定支援事業を活用し、葛飾区の営業所兼研究所を対象に本社工場とも運動する全社的な計画策定に乗り出した。策定に当たったのは各部署から選抜した総勢12人のメンバー。専門家の指導の下、被災シナリオと対応手順を具体的に想定。演習によって問題点を

▲……………事業継続計画の策定会議

プロフェッショナル&専門部署

## 震災でBCPの重要性痛感

洗い出し、改善するという作業を重ねた。必要不可欠なものが機能しなくなるといったケースや、けがで責任者が不在になるなど厳しい被害を想定。リスクの直視を心がけた。

新たな「事業継続計画書」は、想定シナリオに沿って、災害直後から時系列順に取り組む事柄を整理してある。実際の現場の状況に合わせて、時系列や手順を入れ替えることで、さまざまな災害に対して柔軟に対応できる。現場の負荷低減のため「『良かれ』と想っていたことに責任を問わない」（稲生社長）方針も決めた。今後は、さまざまなシナリオで演習を重ねる一方で、全従業員が参加する実地訓練で「自分たちの命や職場、生活をみんなを守る」という意識を浸透させていく考えだ。